

めざす子ども像

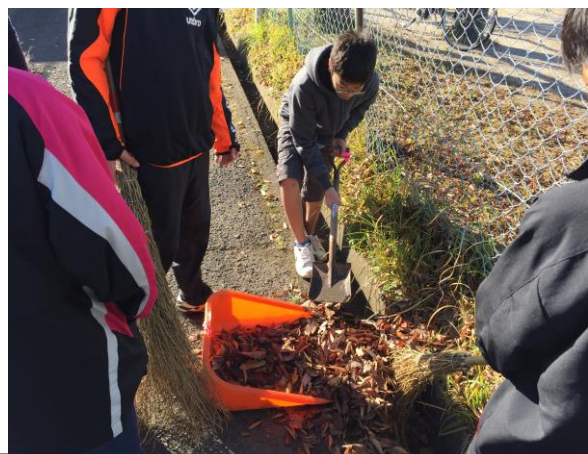
確かなつながりの中で自ら学び続ける**心豊かなたくましい子**

取組目標

「地域を守る人づくり」を目指し、学校・保護者・地域各種団体の連携を促す

【今年度の取組紹介】

「地域を守る人づくり」を目標に掲げながら、コロナ禍の渦中は活動が縮小傾向でした。今年度は奈良市総合防災訓練の参加も放課後子ども教室の体験として呼びかけるに留まり少し減少しました。しかし、協議会発足以来活動が継続している「落ち葉清掃」は参加数が復活し、児童・生徒はじめ、地域の方々がたくさん参加くださり、歩道、溝など素晴らしくきれいになりました。



ならやま中学校区のみなさま

**参加のお願い！**

【今年度のまとめ】

- ① 図書室ボランティアがグループ LINE で活動スケジュールを調整し、司書からの指示や活動内容の共有をはかり、支援システムの構築を進めました。
- ② 通学路の見守り活動の連絡体制のために細やかな打合せの会合を持ちました。
- ③ 地域と連携した防災教育の取り組みイベントを右京地区に重点を置き、開催しました。
- ④ 『落ち葉清掃』の児童、生徒、地域住民の参加の増加はボランティア意識の活性化を感じました。
- ⑤ 地域ボランティアの登録参加は維持され、地道な活動が必要に応じ継続されました。

【来年度に向けて】

- ① 地域の様々な世代に適応した広報活動を細やかに行い、ボランティアの募集に繋がります。
- ② コーディネーター・ボランティア間の連絡・会話を密に、役割を明確にし、活動能力を上げます。
- ③ 子どもたちが発するメッセージを引き出すために、子どもたち、教職員、保護者にアンケートや生徒会、児童会と話す機会を持ち、子どもたちの力が発揮できる場を企画します。

めざす子ども像

確かなつながりの中で、自ら学び続ける

心豊かなたくましい子

取組目標

地域とともに心を耕し、夢を育む「ならやまっ子」

【今年度の取組紹介】

○令和5年12月16日（土）落ち葉清掃

ならやま中学校区で落ち葉清掃をしました。

事前の案内では「小雨決行、雨天中止の場合は7時の時点で学校ホームページにて連絡します」と伝えていました。

前日から小雨が降ったり止んだり、学校の担当教員は早朝から空模様と天気予報と交互に確認をしながら、決行すべきかどうかをずっと心配していました。

そこで、地域総合コーディネーターに相談したところ、「できる！大丈夫！」という自信に満ちた決断のもと、予定通り決行しました。なんと、活動中の2時間だけこの地区に雨が降らなかったのです。コーディネーターの気迫が天まで届いたようでした。



どんよりとしたお天気でしたが、地域住民・児童生徒・教員・保護者・地域で活動する社会体育団体の有志など、多数ご参集いただき、溝清掃を中心に清掃活動をしました。今回も地域コーディネーターと中学校生徒会が中心となり、広く参加呼びかけを行い、様々な方々と交流しながら協働することができました。

この取組が一人ひとりにとって地域をたいせつに思う気持ちをもつ機会となりました。



【今年度のまとめ】

○参集型の活動が徐々に復活し、本校区の魅力である地域のつながりを感じられる取組を取り戻すことができました。

○年度末にはさまざまな分野で活動いただいたボランティアさんに学校に集まっていただき、児童生徒から直接お礼を伝えるセレモニーを行うことができました。

【来年度に向けて】

事業の目的を「心の通い合い」とし、地域とともに持続可能な取組の計画と実践を考えていきたいです。

めざす子ども像

確かなつながりの中で、自ら学び続ける

心豊かなたくましい子

取 組 目 標

地域への意識を高め、地域活動に積極的に参加する児童を育てる

今年度の取組紹介

○防災体験学習

北消防署の協力を得ながら、各学年の発達段階に応じた系統的な学習を進めています。また、教職員についても校内研修として救急救命法研修を実施し防災意識を高めています。

毎年行うことによって、児童の防災や地域の一員であることの意識が高まり、地域で行われる防災訓練への参加にもつながっています。



○授業支援活動

今年度は、地域の方々に学習活動に参加・支援いただく機会を多くもつことができました。

プール学習や家庭科実習等では、児童の安全補助として多くのボランティアの方に協力いただきました。

また、総合ならや図工では、専門性を生かした実技披露や児童への指導助言等をいただき、児童が本物にふれるよい機会となりました。

今年度のまとめ

- 今年度は、できる事業から随時実施したところ、多くの地域ボランティアの方や保護者の協力を得ることができました。
- 消防署の協力も得て、各学年で系統的に取り組んでいる防災学習や地域の防災訓練への児童の積極的な参加等を通じて、防災や地域の一員であることの意識をより一層高めることができました。
- 見守りボランティアや図書ボランティア等の地域の方々の学校支援活動が、学校力を高める大きな一助となっています。

来年度に向けて

- 地域・家庭・学校のつながりを深める取組を進め、子どもたちには自分の住んでいる町の魅力についてより知ってもらいたいと考えています。

めざす子ども像

確かなつながりの中で、**自ら学び続ける心豊かなたくましい子**

取組目標

**地域の人や環境に親しみを持ち、意欲的に活動に
取り組もうとするような事業の充実を図る**

【今年度の取組紹介】

防災訓練

突然起こる地震や火事など、もしもの災害に備え、今年度は奈良市消防団平城分団と奈良市広報指導分団なでしこ隊に依頼し、防災訓練を実施しました。

なでしこ隊からは、紙芝居の読み聞かせや歌、ダンスを通して分かりやすく避難の方法を教えてもらいました。火事では姿勢を低く、地震では頭を守って避難することが大切であることを知り、覚えたことや経験したことを家族で話をする良い機会ともなりました。

また、消防団による放水訓練を見たり、水消火器を用いた消火訓練をしたりしました。目の前で水が勢いよく出る様子を見たり、実物の放水用ホースに触れたりしたことは子どもたちにとって大きな感動に繋がりました。そして翌日、「ぼくも消防士みたいになりたい」と、放水活動の様子を模倣して遊ぶ姿が見られ、消防団員の活動を見て、その仕事に興味や憧れの気持ちを持つことができました。



【今年度のまとめ】

今年度も継続して教育支援事業、環境整備事業、防災教育事業に取り組みました。防災教育事業では新たに消防団と協働した防災訓練を実施することができました。

環境整備事業や教育支援事業では、コロナによる制限がなくなったことで地域の方との関わりが増えました。地域の方に温かく受け止めてもらえることで、安心して様々な活動に取り組むことができ、認められる機会が増えたことで、自己肯定感も高まりました。

【来年度に向けて】

園の実情として、園で長時間過ごす子どもの割合が増え、家庭においては地域との関わりが少なくなっていると思われます。そのため、教育時間終了後に地域の方と関わる活動（絵本の読み聞かせ等）を計画・実施し、子どもたちが地域とのつながりを感じられるようにしていきたいと考えます。今後も活動内容をホームページ等で知らせ、多方面の教育支援ボランティアに協力して頂き、子どもたちが興味や関心を持って取り組めるような活動を一緒に考え実行していきたいと思います。

めざす子ども像

確かなつながりの中で、自ら、学び続ける心豊かなたくましい子

取組目標

自然や地域の人との関わりを通して、豊かな心を育み子どもたちが興味や関心をもちやってみたいというきもちを育成する

【今年度の取組紹介】

☆おはなしの会

今年度も、“右京おはなしの会”のグループの方々にお越しいただき“右京おはなしの会”を開催しました。今年度より新型コロナウイルスが5類に移行したことにより右京おはなしの会グループの方々と話し合い、今まではクラスごとの入れ替えで、各学年隔月でしか参加できていなかったのですが、今年度より2学年がリズム室に入り2部制にすることにより各学年毎月おはなしの会を楽しめるようになりました。季節に合わせた手遊びや手作りの大型パネルシアターなど子どもたちはお話の世界に入り込み、おはなしの時間を堪能することができました。また、夏祭りにて、親子対象に“おはなしの会広場”を開催し、盛大な盛り上がりとなりました。



☆野菜の苗植え・収穫

地域ボランティアの方々は何度もお越しいただき、3, 4, 5歳児の子どもたちと玉ねぎの苗植えや収穫、サツマイモの苗植えや収穫を行いました。収穫したさつまいもで実際にバーベキューコンロを使用し、焼き芋パーティを行いました。地域の方々と食べる焼き芋は格別においしく収穫を喜び合える収穫祭となりました。



☆敬老の集い

右京地区社会福祉協議会・右京地区自治連合会主催による“敬老の集い”に5歳児園児が参加した。ダンスを披露や、クイズ大会など地域の方との交流の場になりました。新型コロナウイルス感染拡大に伴い参加できない状態が続いていましたが今年度、民間移管後初めての開催となりました。

☆花いっぱい運動に参加

学研センター主催で近鉄高の原駅前に花植えを行う活動を5歳児が参加しました。花の根っこを優しく持ったり植え方を教えてもらったりして地域の方との交流となりました。



☆旧右京小学校清掃活動・保育園内のプール清掃

地域の方々と職員と共に、旧右京小学校の清掃や、草引き、保育園内のプール掃除を行い、子どもたちが使用する環境を整えました。職員も地域の方との交流のいい機会となりました。



【今年度のまとめ】

今年度は新型コロナウイルスが5類に移行したことにより開催できる活動が増え、制限がなくなったことによりたくさんの方に保育園に来ていただけるようになったので、地域の方々と共に行う活動が増えた一年となりました。夏祭りに関しても、人数制限、年齢制限、入替などもなくし、地域・卒園児等にもたくさんの方に参加いただき盛大ににぎわいました。また、夏祭りでは近くの障害施設に、焼いて販売している手作りクッキーの販売を行うなど飲食の開始も行いました。

【来年度に向けて】

今まで行ってきた活動に関しては、子どもたちにとって交流を深める大切な活動であるため、引き続き継続して行っていきます。また、今年度拡大して行った行事や、初めて参加した行事に関しても、引き続き地域の方々と共に子どもたちが育ちあうために必要だと考えています。来年度は、園内だけで行っていた防災活動にも地域の方々と取り組めるようにしていきたいと考えています。